

文理科学科通信

京都府立福知山高等学校

本物の躍動感 現場の臨場感

文理科学科宿泊研修(1)

7月21(火)から23日(木)の日程で文理科学科第1学年40名対象の宿泊研修を実施しました。

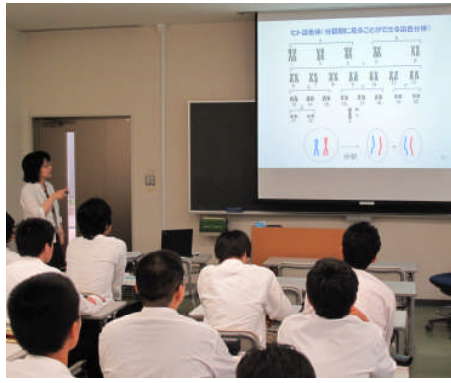
神戸大学

最初の研修先である神戸大学からは、これまでに、農学研究科、経済学研究科から、みらい学特別講義にお越しただいています。

大学の概要説明を受けた後、重要文化財のある校地の



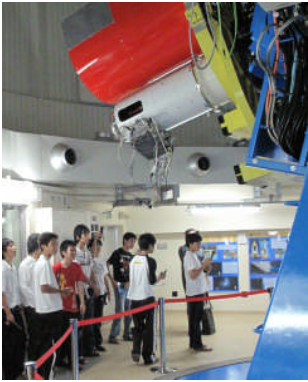
見学に向かいました。あいにくの雨模様のため、長時間の見学はできませんでしたが、大学の雰囲気を感じる貴重な体験となりました。午後は、理学部の教室に移動して、模擬講義を受講しました。講師は、女性研究者として御活躍の理学部准教授高橋美樹子氏で、現在学習中の生物Iと関連した「細胞分裂のしくみとそこに潜む落とし穴」というテーマで、御講義いただきました。



西はりま天文台

世界天文年にあたる今年、世界各地で天文学に関連する行事が行われています。この宿泊研修期間中にも、部分日食が観測できることなどから、西はりま天文台でも学習プログラムが計画されていました。日食前夜は、午前中からの雨が降り続き残念ながら夜間の天体観望会は、中止となりました。

観望会に代えて、当夜の星空のPCによる投影や、翌日の部分日食の概要を講義していただきました。



その後、天体望遠鏡本体を見学しました。望遠鏡の構造や、設計上の工夫、メンテナンスの苦労など、「美しい天体観望・緻密な天体観測」の裏側にある研究者・技術者の活躍を垣間見ることができました。

なお、西はりま天文台のある兵庫県佐用郡佐用町では、8月9日の台風9号の接近により、尊い人命が奪われ多くの被害をもたらしました。被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

須磨海浜水族園

西はりま天文台から須磨海浜水族園への移動途中、車窓から雲にさえぎられながらも部分日食が見られ、自然現象の素晴らしさに歓声が上がりました。

今回の見学では、美しくライトアップされ、美しい環境を演出している「水族館の展示」だけでなく、「水族館の裏側にあたる業務の現場」(バックヤード)を見学することができました。表の幻想的ともいえる展示とは一転し、天井から周囲に給排水の配管や電気配線が張りめぐ



研修の記録から

(日新中学校出身)

あいにくの天気のため、天体観測はできませんでしたが、講義で、日食はギリギリまで暗くならず、コロナが見える10秒前くらいになって突然暗くなっていくことがわかりました。あの暗さなら動物が騒ぐのも納得できました。

(南陵中学校出身)

須磨海浜水族園でのバックヤードツアーでは普段なら見ることもできない水族園の裏側を見学し、飼育員さんの大変な工夫がよくわかりました。

また、魚の模様や習性には深い意味があり、彼らの生活に必要な不可欠なものがあるということも学ぶことができました。

※宿泊研修後半は、次号にてお知らせします。